



泉佐野産普及促進事業

①抱えていた課題

日本全国には素晴らしい地場特産品が存在しており、その宣伝と情報の発信に各自治体は創意工夫しているが、特産品にブランド力を持たせ流通ルートに乗せることは難しい。また、他の自治体で特産品をPRすることについても、受入側にとっては、他の自治体の特産品を自らの施設や事業で取り扱うことの是非が問われてしまう為、地域の枠組を超えた仕組みの構築が課題であった。

②課題に対する取組み

- ・課題に対する解決策として、特定の自治体との間で「特産品相互取扱協定」を締結している。その数は47自治体（2018年7月現在）に及び、自治体間で相互の特産品を取り扱うことの位置付けを明確にし、地域の内外を問わず、互いのイベント等でのPR活動など、本市以外の場所での地場特産品の情報発信を行っている。
- ・泉佐野産農水産物を使った独自レシピを、有名料理人や地元のホテルなどで考案していただき、市民をはじめとした多数の方に提供して頂く取組みを行っている。「実例としては、ホテル日航関西空港において、地元の特産品である松波キャベツを活用したメニューを考案していただき、ホテル内レストランで提供していただくことでPRに努めている。」

協定締結北海道から沖縄まで



※群馬県・広島県・福岡県除く

特産品相互取扱協定締結先特産品



地域イベントでの特産品PRの実施



③目指している将来像

レシピ開発、全国各地での特産品の販売を通じて「泉佐野産」の知名度向上を図る。「泉佐野産」の認知度が高まることで「泉佐野産」のブランドイメージの向上や6次産業化の動きが活発化することを目指す。

特産品
相互取扱
協定締結

泉佐野産
の知名度
向上

泉佐野産の
ブランド化

泉佐野産の
6次産業化

地方
特産品
を通じた
相互繁栄

④企業様に向けたメッセージ

「泉佐野」の魅力をより多くの方へ伝え、対外的な認知度の向上を図るだけでなく、泉佐野市に住む方にも、自分が住む都市の魅力を再発見していただき、地元への愛着心を育むことのできる取組ですので、ご支援よろしくお願いいたします。